

## 自民広報紙による「大阪 IR カジノ」批判

写真は新聞折込されていた自民・市民クラブ大阪市議員団市政報告 35 から。「大阪 IR／カジノ誘致 是か非か」と大きな見出しで、ビジュアルに問題を 3 つ投げかける。

ここが問題 01、夢洲の土壌汚染・液状化等対策費に公金 790 億円を投入。「公金は一切投入しない」と言ってきた歴代市長。

そもそも浚渫土砂や廃棄物により埋め立て造成された土地だ。分かっていたからこれまでは事業者が負担。公募が 1 社に絞られてから大阪市負担に条件が変わった。万博後の夢洲 2 期・3 期を国際観光拠点として開発した場合、さらに土壌汚染対策費がふくらみ最大 1578 億円の負担リスク！結論として、土壌汚染・液状化対策費に公金投入がなされ、IR 事業者だけ特別扱い。

ここが問題 02、IR の中核施設はカジノではなく MICE だったはずなのに、国際会議場・展示場は大きく条件変更された。結論として、縮小された IR の中核施設 MICE の計画変更などの情報が市民の皆さんに開示されていない。

ここが問題 03、IR 経済波及効果は事業者側が試算し大阪府市で検証なし。年間 2000 万人、本当にこれだけ来るの？ 東京ディズニーリゾートの年間入場者数が約 3200 万人、ユニバーサルスタジオジャパンは約 1430 万人。規模が縮小された IR 計画で、年間 2000 万人もの来場が本当に見込めるのでしょうか？

大阪 IR はシンガポールの IR(マリーナベイ・サンズとリゾート・ワールド・サントーサ)がモデルとされています。前者の年間来訪者 4500 万人、カジノ売上の粗利益 2400 億円、後者は各々 2000 万人、1300 億円となっています。それに対して、大阪 IR は 2000 万人、4200 億円。大阪 IR は来訪者数に対してカジノ売上の粗利益を多く見過ぎです。給付金等の収入見込み額(大阪府・大阪市合計)が 1060 億円/年とされていますが、このカジノ粗利益から算出されているものであるため、納付金の信憑性さえ失われます。

見出しには「3 月議会ですべてが決まる！ FINAL ANSWER!」と書かれている。あす 16 日に市会・都市経済委員会で IR 事業者との質疑も設定されている。ここが問題を中心に、事業者を厳しく追及してもらいたい。

(2022 年 3 月 15 日)

